



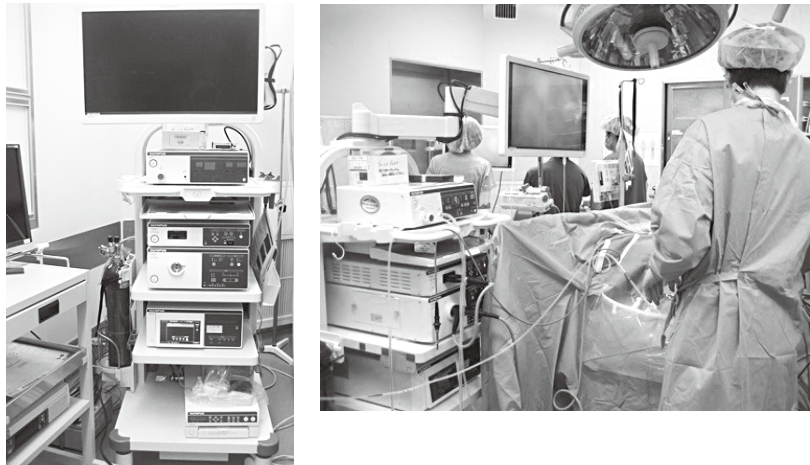
日本医療機能評価機構認定病院  
**京都山城総合医療センター**  
 Kyoto Yamashiro General Medical Center

発行元 京都山城総合医療センター  
 発行元責任者 中井 一郎

# 内視鏡手術の進歩 (泌尿器科領域)

手術というと、身体を大きく切り開くもの、というイメージがあるかもしれませんが。しかし近年は「内視鏡」の技術の発展にともない、外科手術は大きな進歩を遂げています。内視鏡とは、細長い管を口や尿道などから挿入し、体内を観察したり、治療したりする医療機器のことです。その原型とされているのが1800年代に登場した「膀胱鏡」で、内視鏡の歴史は泌尿器科から始まったのです。そして現在、外科系の診療科の中で内視鏡手術の頻度が高いのが泌尿器科です。

泌尿器科は、腎臓、膀胱、前立腺などの病気を対象とする診療科です。膀胱や前立腺の内視鏡手術は、尿道から内視鏡を入れて手術を行います。技術の向上によってわずか直径3〜4mmの尿管(腎臓から尿を膀胱に運ぶ管)にも内視鏡を挿入し手術を施行することが可能になっています。この技術を使って行う手術に尿管結石や腎結石に対する内視鏡手術(TUL, TUL)があります。当院でもこの4月からこの手術を導入し、すでに20例以上の患者様が受けられています。以前までの治療に比べ、身体への侵襲は小さいままで、完治までの治療回数は少なく抑えられています。



泌尿器科部長 鈴木 啓

さらに、腎癌や腎盂尿管癌に対する腎摘除術も、身体に数カ所の小さな穴を開け、そこから内視鏡を挿入する「腹腔鏡手術」が行われるようになってきました。こちらの手術は以前より当院でも施行しており、これまでの開腹手術に比べて患者さんの身体への負担は軽減され、短い期間で回復し退院できるとなっています。

今後はさらなる技術や機械の進歩に伴い、患者様の体への負担のより少ない治療が開発されていくと思われまます。

## かかりつけ医をもちましょう

当院では、症状の軽い患者さん並びに病状が安定している患者さんは地域の医院・診療所に診ていただく「かかりつけ医制度」を推進しております。

「かかりつけ医」とは日常的な診療や健康管理等を行ってくださるホームドクターであり、ご家庭で「かかりつけ医」を決めておくことよつとした風邪や病気の際に、大変便利です。

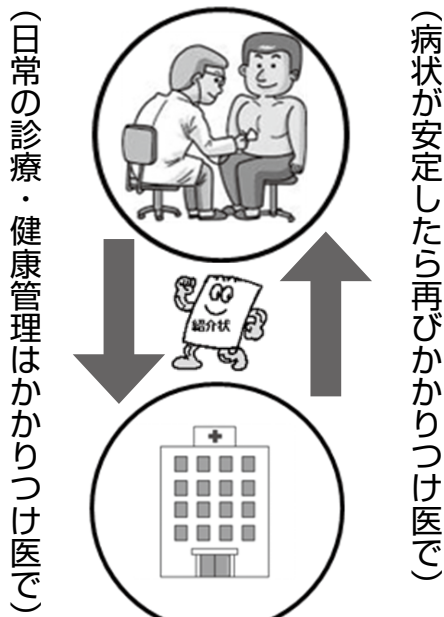
普段健康だから「かかりつけ医」なんて要らないとおっしゃる方、当地へ引越してきたばかりでまだ決めていないとおっしゃる方、そのような方でも、急な病気はもちろん、健康のこと、医療のこと、些細なことでも気軽に相談できる「かかりつけ医」を持つことをお勧めします。

当院から「かかりつけ医」へご紹介後も、病状が急変したり、専門的な検査・治療が必要な時は、「かかりつけ医」からご紹介いただき、当院で診療させていただきます。

当院の医師とかかりつけ医の先生が協力して、いつまでも安心して医療を受けられる体制に努めてまいりますので、何卒ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

もし「かかりつけ医」をお持ちでない場合、患者さんのご住所などに応じて紹介させていただきまますので、1階地域医療連携室までお気軽にご相談ください。

### 医院・診療所



専門的な検査・治療は  
**京都山城総合医療センター**

### 『かかりつけ医をもつメリットは?』

- ◆一人の医師に継続的にかかることで、ご自身の病歴や体質・生活習慣などをふまえた診察を受けることができます。
- ◆『かかりつけ医』から紹介いただき受診予約をしていただくと、スムーズに検査や診察を受けて頂くことができます。
- ◆入院や検査などが必要な場合、適切な病院・診療科を紹介してもらえます。

### 『かかりつけ医を選ぶポイントは?』

- ◆患者さんのお話をしっかり聞いてくれて、気軽に相談できる。
- ◆病気、治療、薬などについて、分かりやすく、納得がいく説明をしてくれる。
- ◆紹介状などを快く引き受け、必要に応じて、適切な専門医を紹介してくれる。
- ◆できれば家の近くにあり、通院しやすい。

(注1) 受診の際に『かかりつけ医』からの紹介状を持参されずに来院された場合には、初診のつど別途費用が必要となります。

(注2) 受診予約をされていない場合は、診療時間内であっても診療が出来ない場合がありますので、受診される際は予め当院までご連絡をお願い致します。



# 地域包括ケア病棟

医療の現場ではここ数年、「地域医療」という言葉がよく聞かれるようになりました。高齢化が進み、病院だけで高齢者の医療を支えていくのは困難になりつつあります。地域で医療を行なっている医院・診療所の先生、訪問看護ステーション、各施設の方々、そして地域で生活している皆様と協力しながら高齢者の方を支えていく必要があります。病院から生活の場（地域）に戻るまでの準備の場所として、H26年度「地域包括ケア病棟」というシステムを国が立ち上げました。当院では、8階病棟が地域包括ケア病棟に変わり、患者様・御家族様が、安心して在宅へ退院して頂けるよう、リハビリや退院支援を行なっています。

自宅に帰るために積極的なリハビリが必要な方、住宅改修や介護保険のサービスの介入調整が必要な方、インシュリンの自己注射等、退院前教育の必要な方々が主な受け入れ対象となります。必要に応じて主治医、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ、ソーシャルワーカーが連携を取りながら、退院に向けた支援を行なっています。

また、医療的な処置（痰の吸引、点滴など）のため、介護施設でのショートステイの利用が困難な方の受け入れも行なっています。介護を行なっているご家族様がお疲れになった時、頼れる場所でありたいと思っています。

地域住民の皆様が、安心して治療を受け、在宅へ退院できるシステム作りを目指していきます。

地域包括ケア病棟棟長 山本 雅子



# ふれあい看護体験

「ふれあい看護体験」とは、京都府看護協会が毎年行っている行事です。次世代を担う中学・高校生を始め京都市民が、医療関係者、患者さんとの触れ合いを通し、看護や命について理解と関心を高める事や、看護に興味を持ち、看護の道へ進むきっかけや目標にする事を目的としています。

今年は7月30日（火）に、府内の高校1・2年生各1名と3年生3名の計5名が看護体験に來られました。クラブ活動で真っ黒に日焼けした姿から、白衣に着替え、すっかり新人看護師に変身です。午前・午後と約4時間、血圧を測ったり、実際の患者さんの体を拭いたり、お風呂の介助を見学しました。新生児室では、生まれたての赤ちゃんを見学していると、思ったよりも、きびきびしてびっくりしたり、「助け合って働く姿を見て、やってみたいと思った。」と嬉しい感想を頂きました。

毎年6月～8月に、このような看護体験を受け入れていきます。看護に興味がある方、中学生以上であれば「京都府看護協会」ホームページより申し込むことが出来ます。一緒に感動を共有してみませんか。

看護部 山際 京子



## 平成26年度 経営状況

平成26年度につきましては、昨年度に引続き『第二次経営改革プラン』に基づき、推し進めてまいりましたところ、約6,800万円の黒字決算が見込まれることになり、5期連続の黒字決算となりました！

### 【 主な取組み内容 】

#### ○医療機器等の更新及び建物設備等の改修（約3億8,800万円）

＜購入した主な医療機器等＞

脳神経外科手術用顕微鏡更新、母体胎児集中監視システム更新、プラズマ滅菌器、生体情報モニター更新、生理検査システム更新、臨床検査システム更新、神経生理検査システム更新、生化学自動分析装置更新、内視鏡手術システム、無停電電源設備更新、外来化学療法室改修工事等

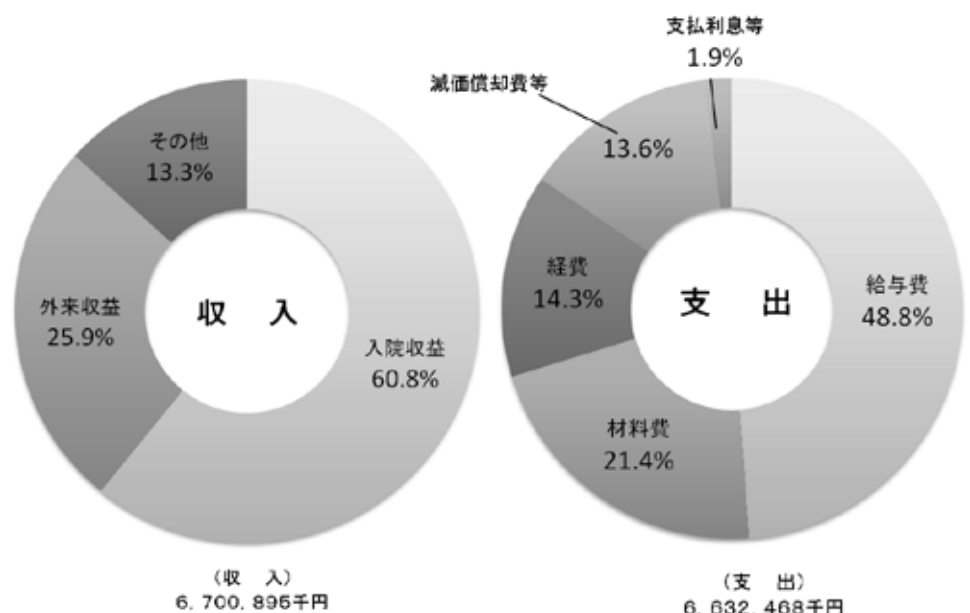
#### ○診療体制等の充実

＜地域包括ケア病棟の運用開始＞

地域住民の皆様への医療ニーズに応えるべく、昨年8月から8階病棟を地域包括ケア病棟（リハビリや退院支援などを行う在宅復帰支援のための病棟）に病棟編成を行い、運用を開始しています。

＜認知症疾患医療センター地域型に指定＞

平成26年3月1日付けで京都府より、「認知症疾患医療センター地域型」に指定され、定期的に「もの忘れ外来」の診察及び認知症に関する相談業務などを行っています。





# 周産期センターのご紹介



新生児集中治療室 (NICU)

1952年の創立以来63年、当院産科は地域の出産・子育てを支え続けてきました。1997年には周産期医療2次病院の指定を受け、京都山城南医療圏における周産期医療の中核を担っています。

周産期センターは、母体胎児集中治療室 (MEICU) を含む産科病棟、新生児集中治療室 (NICU)、陣痛室、分娩室、新生児室からなっており、産婦人科医師、小児科医師、助産師・看護師が24時間体制で管理しています。年間分娩件数は約500件、帝王切開率は約20%です。近年、子宮筋腫などの婦人科疾患や循環器・内分泌・代謝系の内科疾患の合併症妊娠が増加しており、ローリスクからハイリスクの妊産婦・新生児に対応できるよう努力しています。

ハイリスク妊産婦・新生児に限らず、安全な周産期医療を提供するため、院内の各部門との連携を図っています。また、より高度な医療が必要となる場合は、京都府の周産期医療ネットワークシステムを通じて、適切な施設へ母体・新生児搬送を行う体制をとっています。



当院の看板助産師

入院中の妊産婦・新生児のケアには18名の助産師が携わっており、その半数が10年以上のキャリアを持っています。(そのうちキャリア20年以上5名、30年以上1名。)

周産期医療の高度化に伴い、専門的知識を深め、助産技術を磨くことはもちろん、緊急時に安全・迅速に対応する能力がより一層助産師に求められています。日本助産評価機構は、助産教育・助産実践の第三者評価に関わる事業の一環として、『助産実践能力習熟段階レベルⅢ認証制度』を2015年度より開始します。これは、助産実践能力が一定の水準に達していることを審査し、認証する制度です。

レベルⅢを認証された助産師は「自律して助産ケアを提供できる助産師(アドバンス助産師)」として公表することができ、今年度は、3名の助産師が申請手続きを行い、レベルⅢ認証の獲得に向けてチャレンジ中です。安全・安心な出産環境を提供し続けていけるよう日々努力したいと思っております。

4階病棟・周産期センター  
師長 上村 真紀

## ロコモティブシンドローム(ロコモ) ~いつまでも自分の足で歩くために~

### ロコモティブシンドローム ー運動器症候群ーとは？

骨、関節、筋肉などの運動器の働きが衰えてくると、くらしの中の自立度が低下し、介護が必要になったり、寝たきりになる可能性が高くなります。運動器の障害のために、要介護になっていたり、要介護になる危険の高い状態がロコモティブシンドロームです。

### ロコチェックで思い当たることはありますか？

- 片脚立ちで靴下がはけない
- 家の中でつまずいたり滑ったりする
- 階段を上るのに手すりが必要である
- 横断歩道を青信号で渡りきれない
- 15分くらい続けて歩けない
- 2kg程度の買い物をして持ち帰るのが困難である(1Lの牛乳パック2個程度)
- 家のやや重い仕事が困難である(掃除機の使用、布団の上げ下ろしなど)

※7つのうち、ひとつでも当てはまれば、ロコモである心配があります。今日からロコモーショントレーニング(ロコトレ)を始めましょう！

※支えが必要な人は、机に手をつけて行ってください。  
 ※2つのロコトレ以外にも、その他の運動(ウォーキング、ストレッチ、ラジオ体操)も積極的にいきましょう。  
 ※無理に試して、転んだりしないよう注意してください。また、腰や関節の痛み、筋力の衰え、ふらつきといった症状が、最近悪化してきている場合などは、まず医師の診察を受けてください。

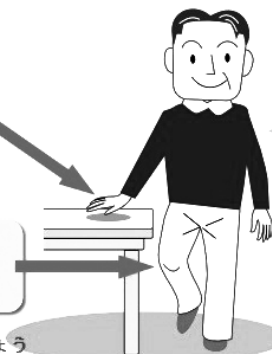
参考 / 公益社団法人 日本整形外科学会

### ロコトレ その1 開眼片脚立ち

転倒しないように、必ずつかまるものがある場所で行いましょう。

床に着かない程度に片足を上げます。

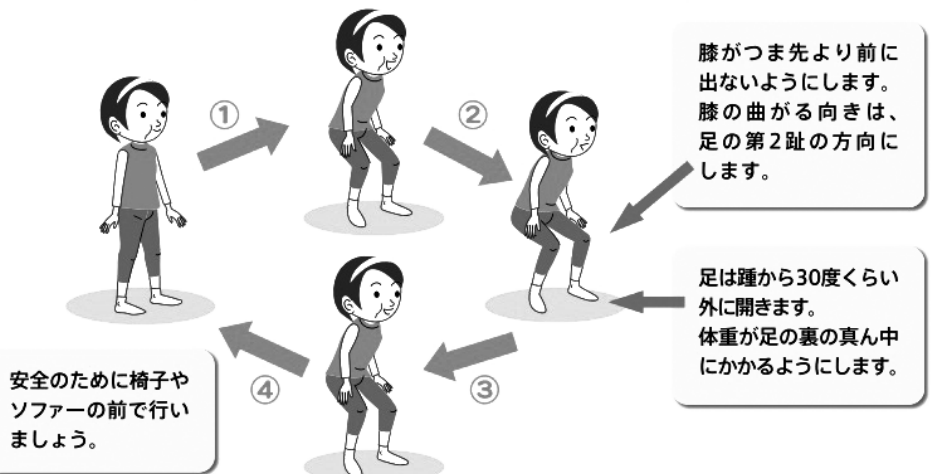
※左右1分間ずつ、1日3回行いましょう



**ロコトレ**  
(ロコモーショントレーニング)は、たった2つの運動です。毎日続けましょう！

### ロコトレ その2 スクワット

- 椅子に腰かけるように、お尻をゆっくり下ろします。
- お尻を軽く下ろすところから始めて、膝は曲がっても90度を超えないようにします。



深呼吸をするペースで5~6回繰り返します。これを1日3回行いましょう。痛みを感じた場合は、お尻を下ろし過ぎないようにしたり、机などを支えに使ったりしてみてください。



**開業医** 当院では、地域のかかりつけ医との連携診療を進めています。  
**紹介** 「登録医」制度にご協力頂いている地域の医療機関を順番にご紹介させていただきます。

**【飯田医院】** (木津川市木津町)

診療科：内科・小児科・放射線科  
 院長：飯田 泰啓 先生  
 飯田 泰子 先生

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	×	○	○	×
17:30～19:30	○	×	○	×	○	×	×

休診日：木曜日・日曜日・祝日

先生より一言：地域のかかりつけ診療所として初期治療の出来る体制を整えています。子供さんから高齢者までご家族の健康の相談役をしています。

所在地  
 〒 619-0217 木津川市木津町瓦谷 56  
 TEL：(0774) 72-0055

**【山口医院】** (木津川市加茂町)

診療科：内科・消化器内科  
 院長：山口 泰司 先生

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:30～12:00	○	○	○	×	○	○	×
17:00～19:00	○	○	○	×	○	×	×

休診日：木曜日・日曜日・祝日

先生より一言：京都山城総合医療センター勤務後に生まれ育った加茂町で平成 19 年に開業し、在宅医療を含めかかりつけ医としてがんばっています。

所在地  
 〒 619-1113 木津川市加茂町北船屋 24  
 TEL：(0774) 76-0505

**【柳沢活道ヶ丘診療所】**  
 (相楽郡和東町)

診療科：内科  
 院長：柳澤 衛 先生

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○	×
18:00～20:00	○	○	×	○	○	×	×

休診日：日曜日・祝日

先生より一言：和東で開業して 25 年。当時現役だった方が高齢になり孤独を感じておられます。かかりつけ医として患者さんと共に歩んでいきます。

所在地  
 〒 619-1222 相楽郡和東町白栖南半田 12 番地  
 TEL：(0774) 78-3334

**造影CT検査の前に**

CT検査で使用されるヨード造影剤は、2パーセント程度の割合で副作用が生じます。頻度の多い副作用は、はきけ、嘔吐、じんましん、咳、くしゃみなどです。(ごくまれには血圧低下などの重篤な副作用が生じることもあります。)

これらの副作用の多くは、アナフィラキシーという反応であると考えられています。アナフィラキシーには、薬剤によるもの、食物・蜂毒などに対するアレルギー反応によるもの、運動後に生じるものなど、さまざまな原因がありますが、からだが脱水状態にあると、発生率が高まると考えられています。

ヨード造影剤も例外ではなく、脱水状態で投与すると、副作用発生率が増加します。以前は、嘔吐による誤嚥を防ぐ目的もあり、多くの病院で検査前に絶飲食を指導していた時期もありましたが、現在では、十分量の水分摂取が推奨されています。病状や、他の検査、処置、手術により、水分摂取制限のある場合を除き、ヨード造影剤を用いる検査の前には、脱水予防のための水分摂取をお願いします。また、検査終了後も、造影剤の尿からの排泄をうながすために、十分量の水分を摂取して下さい。

放射線科部長 石原 潔

**看護師再就職支援講座を開催します!!**

再就職を望んでいても、現場復帰への不安などから二の足を踏まれているみなさん、この講座への参加を『始めの一步』にしてみませんか。

日時：平成27年10月22日(木) 13時30分～15時30分  
 場所：京都山城総合医療センター 会議室(9階)  
 内容：フィジカルアセスメント(呼吸音の聴取) 電子カルテについて  
 申込み：京都山城総合医療センター 看護部  
 ☎ 0774-72-0235(代表)



前回参加者より要望が多かった上記内容で開催いたします。フィジカルアセスメントでは、高機能シミュレーター「フィジコ」を使用し、呼吸音の聴取を行います。電子カルテについては、実際に電子カルテの操作を体験して頂きます。

**介護老人保健施設やましろ**

介護老人保健施設やましろでは、8月2日に夏まつりを開催しました。夏祭りは、毎年レクリエーション委員会を中心になって何ヶ月も前から準備を行い開催する一大イベントです。今年も、射的、ヨーヨーつり、くじ引き、パターゴルフなどのゲームコーナーや、アイスクリーム、お好み焼き、綿菓子の屋台を作り、入所者様やご家族様が各コーナーをまわってにぎやかに楽しめました。



男性の入所者様に特に人気があるのは射的です。的に向かって5回撃ち、パーフェクトを達成した入所者様もいらつしました。また、今年は綿菓子を『いちご味(ピンク)』『メロン味(緑)』『レモン味(黄色)』の3色を用意したことにより屋台もカラフルになり、甘い香りの漂う楽しい雰囲気の中、入所者様も好きな色を選ばれ、出来たての綿菓子を手にとって喜ばれていました。

当日は大勢のご家族様にもご参加いただき、ありがとうございました。いつも以上に入所者様やご家族様の笑顔を見ることができ、職員一同、大変嬉しい夏祭りとなりました。

介護老人保健施設やましろでは介護職員を募集しております。興味のある方はお気軽にご連絡ください。  
 介護老人保健施設やましろ (0774) 73-0359

**看護師募集**

地域の中核病院で一緒に働きませんか

詳しくはホームページをご覧ください

<http://www.yamashiro-hp-jp/>

待遇 ○地方公務員に準ずる  
 ○期末勤勉手当 年2回(6月、12月)  
 ○定期昇給 年1回

看護部もしくは事務局まで

TEL0774-72-0235

お気軽にお電話ください



- H28年度新入職者
- 中途採用者